

# 地球観測に関する政府間会合（GEO） 次期戦略ミッション策定に向けた検討について

---

令和4年7月

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# GEOの概要

## GEOとは？

地球観測の国際連携による課題解決を目指す国際的な政府間パートナーシップ。SDGs、気候変動、防災及び都市の強靱化の4つを優先連携分野として位置づけ、全球地球観測システム（GEOSS）やワークプログラムなどを通してグローバル課題の解決に貢献している。

## GEOのビジョン、ミッション

『GEO戦略計画2016-2025: GEOSSの実施※』

**ビジョン**：人類の利益のための意思決定や行動が、調整された、包括的かつ持続的な地球観測及び情報に基づいて行われる将来を実現する。

**ミッション**：ビジョンを実現するため、GEOSSを構築し、地球観測データ及び情報の需要と供給を結びつける。

※現在はGEOの第二期にあたる。（第一期は2005-2015年の「GEOSS10年実施計画」）

## GEOSSとは？

- 各国の複数の観測システム（衛星・現場観測）からなる地球観測のシステム。気候変動等のグローバル課題への貢献を目指し、各国の地球観測データ等を官民を含む広範囲のユーザに対して提供するポータルサイト『GEOSS Portal』を運用。

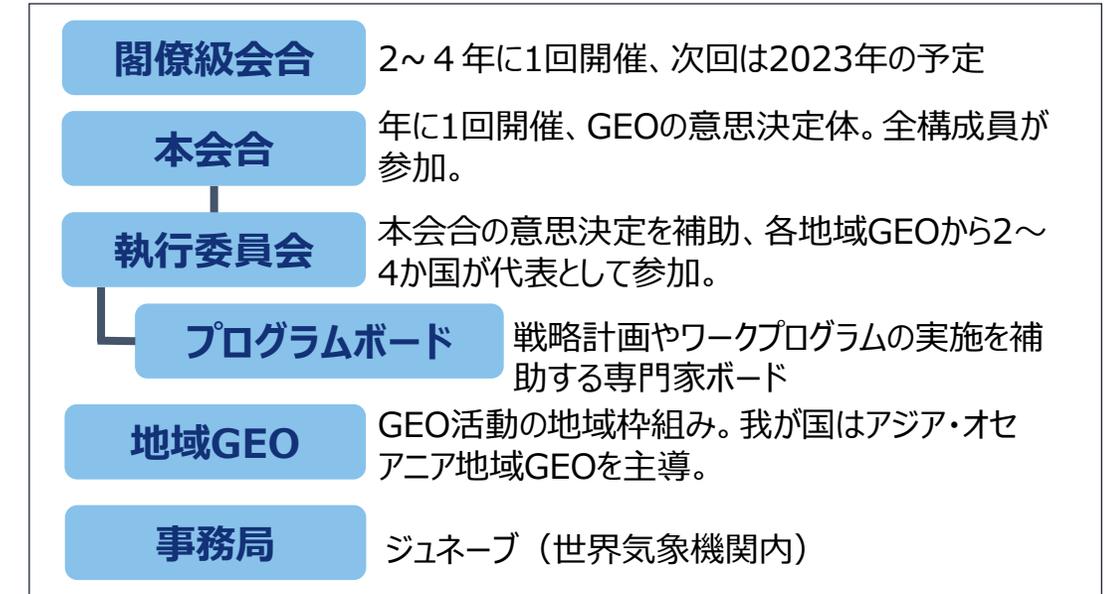
## ワークプログラムとは？

- GEOの計画・活動の主要な手段。地球観測を用いた課題解決等のための具体的な活動。
- 3年毎に見直しが行われる。現在は2020-2022年のワークプログラムを履行中。



## ガバナンス構造

※参加国からの拠出金により運営



## 参加国

計113か国



# バリューチェーンの観点からみたGEO

政策決定への貢献度



主体

観測実施機関  
研究者

観測実施機関  
研究者  
企業

国際機関  
政府機関  
金融機関  
途上国支援機関  
企業

GEO

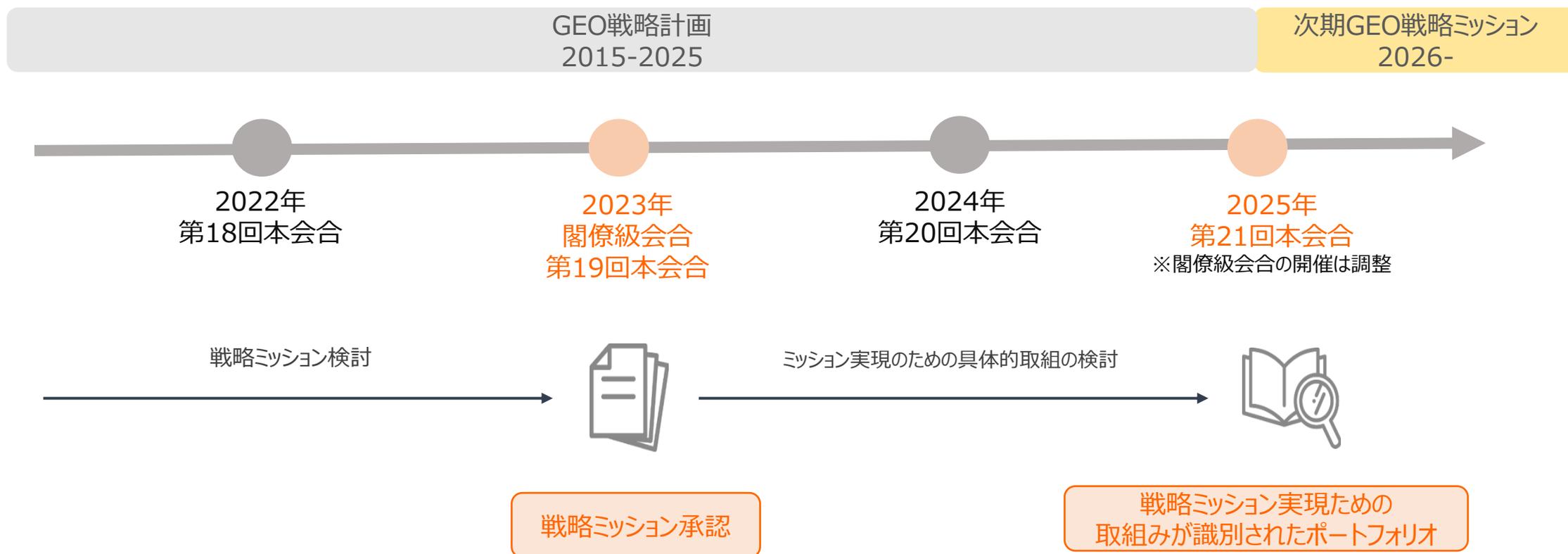
第一期GEO

第二期GEO

第三期GEO

# 次期GEO戦略ミッション策定に向けた動き

- 第3期GEO（2026年～）における戦略ミッションについて、検討に向けた議論が始まっている。第56回執行委員会において、2023年の閣僚級会合で戦略ミッションを策定し、その後戦略ミッション実現のための具体的取組の検討をおこなうという**2段階のアプローチ**が採択された。



# GEOポスト2025ワーキング・グループ（WG）について

## WGの目的

2023年GEO閣僚級会合での承認を目指し、GEOコミュニティ等との協議を踏まえ次期戦略ミッション文書案の作成。

## WGの構成員

- WGはGEO内外のステークホルダーを代表して26名で構成。
- 平等性、多様性、及び包括性を踏まえ、各地域コーカスから代表者を推薦の後、GEO事務局が専門性の観点からこれを補完。



## WG構成員の主要な要件

- 国際的なコミュニティやプラットフォーム間の連携・統合を主導した経験
- 国際的な政策枠組み（SDGs、パリ協定等）に係る知見と経験
- 地球観測データや技術に係る知見と経験
- サステナブル・ファイナンスに係る知見と経験（推奨）

## 日本からの参加者

落合 治 氏

JAXA第一宇宙技術部門

衛星利用運用センター技術領域主幹

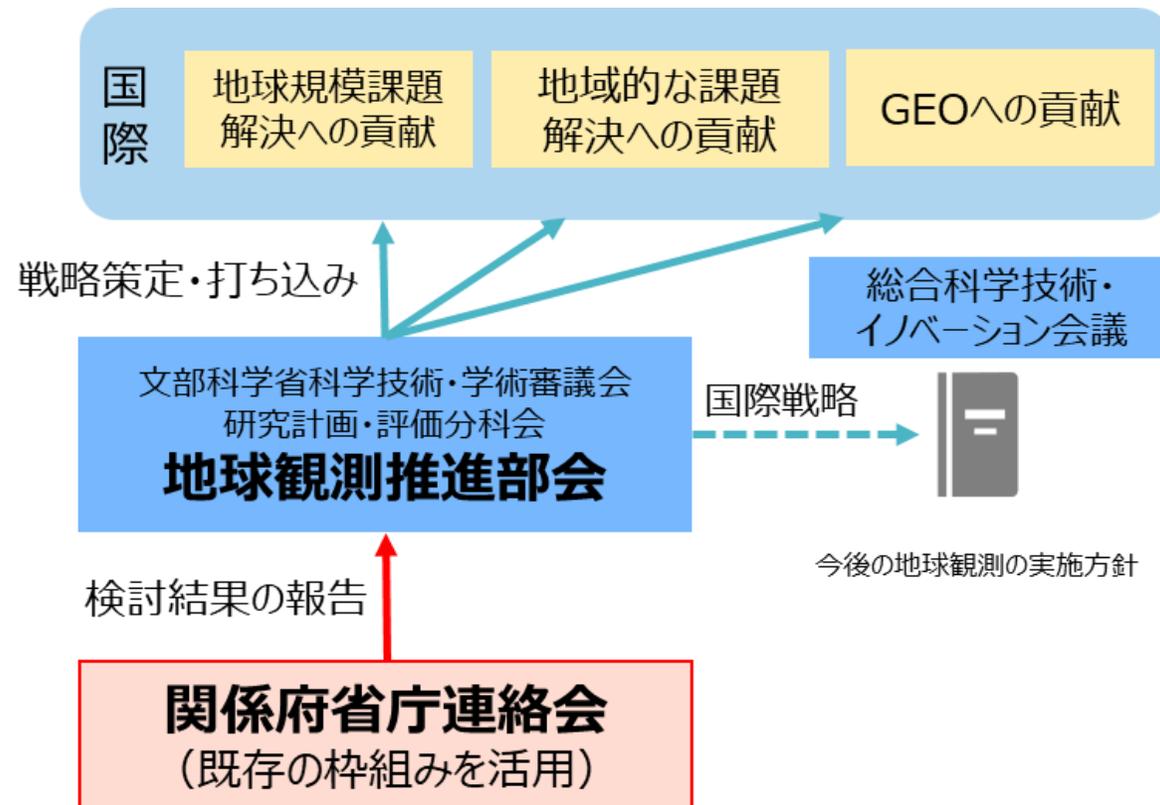
2017年より文部科学省技術参与

（環境エネルギー科学技術研究担当）

# 次期GEO戦略ミッションに係る日本の国際戦略の検討

## 関係府省庁連絡会の活用

- 「地球観測の推進戦略」及びポスト2025WGにおける議論を踏まえ、我が国における地球観測に係る国際戦略並びにGEOの活用戦略等について議論。
- 各省の取組みを総合的に整理、パッケージ化することで戦略的な国際展開・貢献を推進。



# 今後の予定



## Post-2025 WG

第2回会合



戦略のアウトライン、  
スコープについて議論

第3回会合



戦略ミッション  
の議論

第4回会合



戦略ミッション  
の議論

GEO week  
2022

GEOコミュニティとの調整・議論



## 地球観測 推進部会

第6回会合  
(今回)



- 今後の検討体制、方向性
- 論点整理の方向性

第7回会合



- 論点に係る議論
- 国際戦略方針の検討

第8回会合



第9回会合



- 取りまとめ案に係る議論

## 関係府省庁 連絡会

ニーズ調査

論点整理

戦略等の検討・議論

議論とりまとめ

※論点に応じて関係府省庁連絡会を開催

# 検討の方向性

## 次期戦略ミッション検討にあたっての基本的な考え方

### 「GEO中間評価」におけるエンゲージメント拡大のポイント

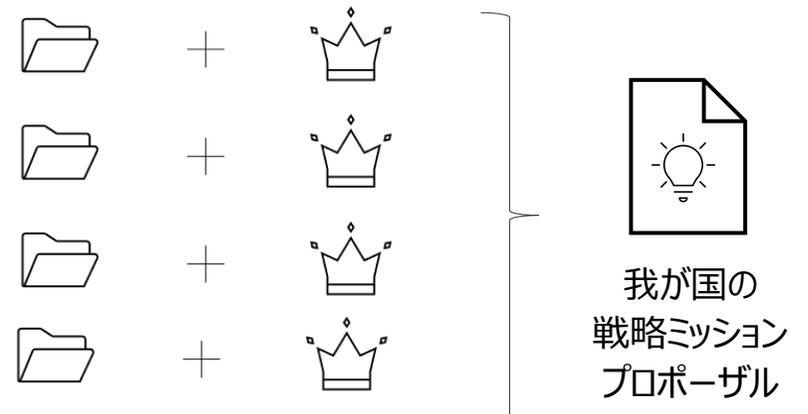
GEOは国際金融機関、統計機関、及び民間企業とのエンゲージメントを拡大し、地球観測に係るアウェアネス（注目）を高める必要がある。このため我々は、各ステークホルダーとの連携を強化するため、特に以下の観点を考慮する。

（「GEO中間評価」第17回GEO本会合資料 GEO-17-1.7a）

## 戦略ミッションプロポーザル

- 中間とりまとめで識別した重点課題候補案をプロポーザルのテーマとして想定。
- テーマごとに、2023年の閣僚級会合において我が国の価値提案として打ち出すフラッグシップ（国際的に高いプレゼンスを発揮しうる取組み）の候補を検討。

重要課題（テーマ）      フラッグシップ



**テーマの焦点化**  
Targeted Focal Themes

**明確な価値提案**  
Clear Value Proposition